

Ⅲの柱 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり

基本目標5 地域社会の連携の強化

基本方策⑩ 多様な主体による取組の推進と連携

【現状と課題】

青少年育成活動のためには、社会のあらゆる分野におけるすべての構成員がそれぞれの役割を果たすことが必要です。

現在、青少年育成活動は、青少年相談員²⁶ や青少年補導員などの「制度ボランティア」、ボーイスカウトやガールスカウト、子ども会など、全国的に組織があり各地域で活動している団体、自治会やPTAなど地域や学校で活動している団体、さらには市民活動団体などが担っています。

少子化、核家族化などにより地域における人と人のつながりが薄れてきている今、家庭や地域の機能を補完するために、青少年育成団体等の体験活動をはじめとする多様な活動を支援するとともに、団体間の連携を強化し、情報の共有化と協力体制の整備を進めることが必要です。

さらに、青少年育成団体の担い手である地域のリーダーたちが高齢化する一方、若年層の減少や団体の認知度の低さなどにより後継者の不足が課題となっており、青少年育成活動の担い手となる人材の育成が課題となっています。

また、これまで公益財団法人千葉県青少年協会が推進してきた「青少年育成千葉県民会議」を継承し、事業の継続を図っていく必要があります。



みんなで協力して
ピザ作りに
チャレンジ!

南房総市つどい大会（南房総市青少年相談員連絡協議会）

²⁶ 青少年相談員：地域社会における青少年健全育成活動の積極的な推進を図るため、昭和38年から市町村長の推薦に基づいて知事が委嘱しているボランティアで、全市町村に配置（定数4,259名：平成29年4月1日現在）している。

【主な施策の方向性】

(1) 青少年相談員活動の充実（県民生活・文化課）

- ・ 市町村や関係団体と連携して、地域における青少年健全育成活動の一層の推進を図ります。
- ・ 青少年相談員の資質及び活動意欲の向上を図るため、地域ごとや県全体で実施する研修の充実を図ります。

(2) 青少年育成団体等との連携（県民生活・文化課、教育庁生涯学習課）

- ・ 新たに「(仮称)千葉県青少年健全育成県民会議」を設置し、県内の青少年育成団体等の連携を強化します。
- ・ また、青少年健全育成推進大会を開催し、各団体の活動状況についての情報共有を図るとともに、各団体の活動の活性化に努めます。
- ・ 市町村民会議と連携を図り、地域における体験活動をはじめとした青少年健全育成活動を推進します。

(3) 青少年育成活動の担い手の育成・確保（県民生活・文化課）

- ・ 青少年健全育成に従事する担い手の確保や資質向上に努めます。
- ・ 市町村や青少年育成団体等が実施する担い手育成研修等の開催を支援します。

(4) 市民活動団体等との連携・協働（県民生活・文化課）

- ・ 子どもを取り巻く課題解決や教育の充実を図るため、学校が市民活動団体への理解を深め、市民活動団体と連携を始めるきっかけとなる研修会を実施します。
- ・ 連携による地域づくりの促進を図るため、地域の様々な課題解決に向け、市民活動団体と学校、地縁団体²⁷、企業、行政機関等とが連携して取り組んでいる事例の中から、優れた事例を表彰し、広く県民に周知します。

²⁷ 地縁団体：自治会、町内会など、一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体。

◎関連指標

	現状（基準年）	目標（H34）
[青少年育成活動の推進] 青少年相談員が地域において実施する 取組への青少年の参加者数	164,233人 (H28)	増加を視野に入れ 160,000人以上 継続

◎主な事業

事業名	事業の内容（担当課）
青少年相談員設置事業	次代を担う青少年を地域で守り育てるという理念のもと、地域の青少年健全育成のリーダー的存在として、各種スポーツや屋外活動並びに文化活動等の諸活動を通して、青少年との交流を図る。 (県民生活・文化課)
「市町村民会議」活動推進事業	関係者による会議の開催や研修会を通じて、市町村民会議や青少年育成団体によるネットワーク活動の活性化を働きかける。 (県民生活・文化課)
青少年指導者育成事業	青少年育成の担い手のスキルの向上を目的として、市町村や青少年関係団体が開催する研修会に、市町村等からの要請に応じて講師のコーディネートや派遣を行う。 (県民生活・文化課)
ちばコラボ大賞の実施	市民活動団体と学校、地縁団体、企業、行政機関等とが連携して、地域の様々な課題解決に向けて取り組んでいる事例の中から、優れた事例を表彰し、広く県民に周知することにより、連携による地域づくりの促進を図る。 (県民生活・文化課)

